
**令和5年度 第1回
川口市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会
議 事 録**

【日 時】 令和5年7月24日（月） 14:00～14:40

【場 所】 川口市立青木会館3階会議室B

【出席者】

1 委 員

福田委員（専門分科会長）、宇佐美委員（副専門分科会長）、田中委員、漆山委員、鈴木委員、吉井委員、浅見委員、須賀委員、小川委員、岡田委員

2 事務局

坂本福祉部長

福祉総務課 森岡次長、真壁補佐、大橋補佐、野口主任、渡辺主任

長寿支援課 関口補佐、須田主査

【次 第】

1 開 会

2 自己紹介

3 専門分科会長の選任

4 議 事

議題1 副専門分科会長の指名について

議題2 市長の諮問について

議題3 （仮）第3期川口市地域福祉計画の策定について

（1）計画策定の概要について

（2）スケジュールについて

（3）市民意識調査について

5 そ の 他

6 閉 会

【配布資料】

- ・次第
- ・座席表
- ・アンケート調査のお願い
- ・委員名簿
- ・川口市社会福祉審議会条例
- ・川口市社会福祉審議会規則
- ・川口市社会福祉審議会地域福祉専門分科会運営要綱
- ・諮問書
- ・計画策定の概要について
- ・（仮）第3期川口市地域福祉計画策定作業スケジュール
- ・市民意識調査について

[議事要旨]

1 開 会

2 自己紹介

委員の自己紹介が行われた。

3 専門分科会長の選任

委員の互選により、福田委員が専門分科会長に選任された。

4 議 事

議題1 副専門分科会長の指名について

専門分科会長より、宇佐美委員が副専門分科会長に指名された。

議題2 市長の諮問について

専門分科会長より、諮問書の説明があった。

議題3 (仮) 第3期川口市地域福祉計画の策定について

【質疑応答・意見】

(委 員)

1点目、資料1 2ページの「計画策定の概要について」。第3期計画において現時点で検討していきたくと特に考えていることは何か。

2点目、マンパワーの確保策の具体的な計画をどのように考えているか。

(事務局)

1点目について、第3期計画においては、資料の1 3ページにある通り、①包括的な支援体制の整備、②重層的支援体制整備事業の実施及び実施計画、の2点を重点的に実施したいと考えている。①は、これまで窓口で相談を受けられなかった人、手の届かなかった人等も含めて、相談をきちんと受け止められる形を整備していくものだ。②は、これまで顕在化してこなかった課題の掘り起こしを行い、支援が届かなかった人へのアウトリーチ、その後の社会参加への支援を総合的に含めた事業である。現在、重層的支援体制事業の準備を進めている。令和6年度から本格的に実施するため、計画中に盛り込んでいく予定だ。2点目についても新しく開始する重層的支援体制事業の中で地域づくりを盛り込んでいる。例えば、高齢者や障害者の居場所づくりを進める。これは行政の力のみでできるものではなく、皆様方の御協力をもってつくり上げるものだ。行政は、地域活動の仕組みづくりを支援することが役割であると考えている。今後は、町会・自治会の御協力をもって、顕在化していない資格を持った人の掘り起こしを進める仕組みづくりを進めたい。

(副専門分科会長)

市民意識調査の集計は完了しているのか。

(事務局)

7月14日に回答を締め切り、現在回収作業を行っているところだ。9月下旬に開催する第2回専門分科会において中間報告を行いたい。

(委員)

回答数はどのくらいか。

(事務局)

回収率として30%から40%程度の回答はいただけると考えている。

(委員)

福祉課題が多様化、複雑化している中、3年間で計画を見直すことはフレキシブルで非常に良いことだと考える。計画期間が10年間から3年間に短縮されると、計画の内容も多少変わると思うが、委員の立場としてどのように検討すればよいか。

(事務局)

第2期計画は計画期間が10年間であり、策定から5年後に見直しを行ったが、社会情勢の変化についていけないと感じた。法改正が頻繁に行われる中で、事業や取組の遅れに気がつかないこともあったかと思う。また、10年間の計画期間中に役目を終えた事業が計画中に残ることもあった。地域福祉計画は福祉分野の個別計画の上位計画であるため、理念計画という性質があるが、計画期間を高齢者福祉計画や障害福祉計画と同様の3年間にすることで、他の計画での評価も含めて捉えることができ、未来につながる成果がみえる計画にしたいと考えている。

(委員)

先日、国で孤独・孤立対策推進法が成立したが、第3期計画に反映されるのか。

(事務局)

孤独・孤立に関する事業については、第3期計画中に盛り込みたいと考えている。川口市においては、孤独・孤立に関する事業については、全庁的に取り組む体制であり、福祉部門で取り上げたことはこれまで無かった。第3期計画中に盛り込むことで、福祉部門で孤独・孤立に関する事業計画を策定するとともに、事業を推進してまいりたい。

(専門分科会長)

議題3については事務局説明の内容の通り進めるということでよいか。

(各委員)

了承

(専門分科会長)

議題3については事務局説明の内容の通り進める。

5 その他

事務局より、次回の予定について連絡があった。

6 閉 会

以 上